

## 第8回ダニと疾病のインターフェイスに関するセミナーの議事録

### Proceedings of 8th Seminar on Acari - Disease Interface 2000 in Akita

第8回集会（SADI 秋田ケダニの里大会）は、以下の通り開催された。

#### 1. 開催要領

ホスト：寺邑能美（大曲市花園病院）

期 日：2000年7月7日（金）～9日（日）の2泊3日

会 場：角館町樺細工伝承館（秋田県仙北郡角館町表町下町 10-1 Tel. 0187-54-1700）

宿 泊：同町内のホテルや旅館に自前で分宿

費 用：参加費 1,000 円，懇親会費 5,000 円，疫学ツアー1,000 円

発 表：口演と討論および資料の展示

企 画：半日の疫学ツアーおよび標本同定会

#### 2. プログラム

1日目 7月7日（金）

15:00～ 開会およびホスト講演

寺邑能美：雄物川流域のツツガムシの動向

15:15～ 歓迎講演

須藤恒久：秋田県内のツツガ虫病診断・届出方式と過去の累積届出数（1948～1998）

15:40～ 記念講演

多村 憲：恙虫病病原体に関する研究—過去・現在・将来 司会 須藤恒久

16:30～ コーヒーブレイク（自由討論，電頭写真展示の供覧）

16:50～ 一般講演

浦上 弘：ツツガムシからの *O. tsutsugamushi* の分離法と問題点

Yu Qiang：台湾の野鼠及びツツガムシからの分離株の性状解析

福原正博：*O. tsutsugamushi* の強毒株、弱毒株の感染と TNF 産生について

岩崎博道：ツツガムシ病における高サイトカイン血症

17:40～ ツツガムシ病総合討論

18:00～ 一般講演

角坂照貴：アカツツガムシの走査電子顕微鏡写真（ポスター）

大滝倫子：疥癬に対するイベルメクチンの効果

18:20～ フロア討論・交流（休憩室にて；弁当支給）

2日目 7月8日（土）

13:00 客員講演

力久泰子：ダニとエーリッキアについて

司会 川原

真

13:50～ 質疑と小休止

14:00～ 一般講演

楊 孝康：ライムを中心とした北海道のダニ媒介性疾患

増澤俊幸：東アジア地域におけるライム病関連ボレリア種の地理的多様性と系統分類

高田伸弘：東洋区にライム病ボレリアを追う

石畝 史：渡り鳥とライム病ボレリアについて

矢野泰弘：ライム病ボレリアの微細形態について

15:10～ ライム病総合討論

15:25～ 一般講演

和田康夫：福井県小浜市におけるマダニ刺症について

渡辺百合子：日本紅斑熱の研究室内感染例

藤田博己：沖縄本島で採集されたマダニからの斑熱群リケッチア分離

15:55～ 紅斑熱総合討論とコーヒーブレイク

16:20～ 要望講演

塩田恒三：日本のネズミから初めて見出されたバベシアの疫学・形態および感染実験

斉藤あつ子：本邦初のバベシア症確認の経緯と兵庫県下のバベシア症の疫学調査状況に

ついて

辻 正義：わが国のヒトおよび野鼠から分離されたバベシア原虫の遺伝子および抗原性

状について

17:20～ バベシア総合討論

17:35～ 一般講演

馬原文彦：感染症新法と日本紅斑熱

溝口二郎：感染症サーベイランスとダニ媒介疾患

17:55～ 感染症新法総合討論

18:10～ 懇親会（バスにて田沢湖畔；湖畔の杜ビール ORAE）

3日目 7月9日(日)

9:00～ 一般講演

藤田博己：福島県におけるツツガムシ病の媒介種

小河正雄：大分県大山町のつつが虫病

9:30～ 教育講演

Wieslaw Kaca : Relationship between rickettsiae and proteus in the Weil-Felix

test.

司会 天野憲一(秋田

大)

10:00～ 質疑とコーヒーブレイク

10:30～ 一般講演

馬原文彦：徳島県における恙虫病

高田伸弘：中国・四国地方におけるタテツツガムシの発見と疫学的意義

馬庭芳朗：大屋町のツツガムシ対策

古屋由美子：神奈川県における恙虫病患者発生状況

11:30～ 総括討議および事務局アナウンス

12:00 解散

登録参加者名簿(五十音順)

阿蘇君枝	(大原綜病・研究所)
天野憲一	(秋田大・機器センター)
板垣朝夫	(島根県衛研)
岩崎博道	(福井医大・輸血部)
浦上 弘	(新潟薬大・微生物)
遠藤大瀧	(なごみのさと施設長)
大滝哲也	(東京都)
大滝倫子	(東京都)
小河正雄	(大分県衛環センター)
荻野和正	(大正製薬・渉外部)
片山 丘	(神奈川県衛研)
角坂照貴	(愛知医大・寄生虫)
川原 眞	(名古屋市衛研)
岸本寿男	(国立感染研・リケッチア・クラミジア)
斉藤あつ子	(神戸大・医・医動物)
佐藤祐一	(角館町佐藤医院)
座本 綾	(酪農大・実験動物)

塩田恒三 (京都府立医大・医動物)  
須藤恒久 (秋田市)  
高田伸弘 (福井医大・免疫寄生虫)  
多村 憲 (新潟薬大・微生物)  
千屋誠造 (高知県衛研)  
辻 正義 (酪農大・実験動物)  
土田正義 (大曲市花園病院)  
寺邑能実 (大曲市花園病院)  
豊嶋俊光 (本荘市由利組合総病)  
中島智子 (京都府保環研)  
馬場俊一 (日本大・医・皮膚科)  
福原正博 (新潟薬大・微生物)  
藤田博己 (大原綜病・研究所)  
藤曲正登 (千葉県衛研)  
古屋由美子 (神奈川県衛研)  
増澤俊幸 (静岡県大・薬・微生物)  
馬原文彦 (阿南市馬原医院)  
馬原けいこ (阿南市馬原医院)  
溝口二郎 (山形県衛研)  
力久泰子 (オハイオ州立大・微生物)  
矢野泰弘 (福井医大・免疫寄生虫)  
山口寿子 (東京都)  
山本徳栄 (埼玉県衛研)  
楊 孝康 (帯広市ひがし十勝病院)  
Yu Qiang (新潟薬大・微生物)  
吉田芳哉 (神奈川県衛研)  
Wieslaw kaca (Poland Acad.Sci.)  
渡辺百合子 (大原綜病・研究所)

編集や事務連絡などは下記まで

・高田伸弘 (福井医科大学)

〒910 - 1193

Tel 0776-61-8330 (直)

Fax 0776-25-0663 (直)

e-mail acaritakada@nifty.ne.jp

- ・藤田博己（大原医療センター）

〒 960-0195

Tel 024-554-2001(235)

Fax 024-554-2014（代）

#### SADI 組織委員会

##### 医ダニ学担当

- ・高田伸弘、矢野康弘（福井医科大学）
- ・藤田博己（大原研究所）

##### 臨床医学担当

- ・馬原文彦（馬原医院）  
〒779-1510 徳島県阿南市新野町信里町 6-1  
Tel. 0884-36-3339 Fax. 0884-36-3641
- ・大滝倫子（九段坂病院）  
〒102-0074 千代田区九段坂南 2-1-39  
Tel. 03-3262-9191 Fax.03-3264-5397

##### 微生物学担当

- ・岸本寿男（国立感染症研究所）  
〒162-8640 東京都新宿区戸山 1-23-1  
Tel. 03-5285-1111 Fax. 03-5285-1208
- ・吉田芳哉（神奈川県衛生研究所）  
〒241-0815 横浜市旭区中尾 1-1-1  
Tel. 045-363-1030 Fax. 045-363-1037

#### [組織委員会からのアナウンス]

今年、会期中に折悪く台風がかすめるなど天候には恵まれませんでした。多くの専門家のご参加に加え、内外の著名な方々による講演も得て、寺邑ホストの絶大なご努力により盛会に終わりましたこと、まことにご同慶の至りです。

毎年の開催でホストの支援をさせていただいている組織委員会のメンバーの件ですが、本セミナー設立の当初からご尽力いただいていた元国立感染研の坪井義昌委員から、この役目は現職の方に譲りたいとのご意向があったため、委員会で協議の結果、同感染研リケッチャ・クラミジア室長に赴任されたばかりの岸本寿男先生から内諾を得た上で、今大会において皆様にご承認いただきました。次年度からよろしく願い致します。

来年の開催地は関東圏（天下の剣、箱根あたり）、期日は8月末という、SADIの

未体験ゾーンとなりそうです。交通の便は良い方面ですから、夏季休暇の締めくくりを兼ねて多数のご参加をお願い致します。

#### 写真の説明

1. 会場（角館町伝承館）の門前にて記念撮影
2. 初日の寺邑ホストによる講演
3. 休憩室にてポスター討議および標本同定会
4. かつて寺邑医院に併設されていた恙虫病研究所（大曲市文化財）
5. 台風迫る中、ケダニ明神に詣でる
6. 雄物川河川敷の恙虫病有毒地に入る